

[関連イベント]

記念シンポジウム

① 「DISCOVER JAPAN 2014

「流逝するイメージとメディアの中の風景」

出演=小原真史 (IZU PHOTO MUSEUM研究員)、

吉見俊哉 (東京大学教授)、足立正生 (映画監督)、

今野勉 (テレビディレクター/テレビマンユニオン)

企画進行=成相肇 (当館学芸員)、

松井茂 (東京藝術大学芸術情報センター助教)

日時=9月27日(土) 13:00-18:00 (予定)

参加無料

会場=東京藝術大学

美術学部中央棟第1講義室(定員170人、先着順)

*会場は当館ではありませんのでご注意ください。

*詳細は東京藝術大学芸術情報センターホームページ

<http://amc.gendai.ac.jp/2504> にてお知らせいたします。

② ギャラリートーク

(担当学芸員による展覧会解説)

日時=9月19日(金)、10月10日(金) 15:00-(約30分)

参加無料(要別途入館料)

3階展示室集合

*混雑時には中止することがあります。

③ レンガ・タッチ&トーク

(煉瓦が特徴的な当館のたてもの解説)

日時=10月3日(金)、10月17日(金)、10月31日(金)

15:00-(約20分)

参加無料(要別途入館料)

定員=各回15名 1階エントランス集合

当日、1F受付にてお申込みください。

[次回以降の展覧会]

① 東京駅開業百年記念

スペシャル・オープン・ウィーク

2012年に行われた東京駅プロジェクトマッピングの

1/20模型を使った上映のほか、東京駅や建築、

アートをめぐる講演、講座、トークイベントを多数開催します。

(一般・大学生200円)

2014年11月18日-30日

② 東京駅開業百年記念

東京駅100年の記憶

この100年、東京駅はどのように記憶されてきたのか。

絵画、写真、文学、新聞などに残る東京駅の姿を

展示するとともに、建築としての東京駅の意義を検証します。

2014年12月13日-2015年3月1日

表面=ディスカバー・ジャパン ポスター(部分) [1971年]鉄道博物館

TOKYO STATION GALLERY
東京ステーションギャラリー

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1

Tel. 03-3212-2485 <http://www.ejrcf.or.jp/gallery/>

交通:JR東京駅 丸の内北口 改札前



日本国有鉄道

「遠く」へ行きたい
ディスカバージャパン



TOKYO STATION GALLERY

2014 9/13(土) - 11/9(日)





発見の発見！

日本万国博覧会が終了した翌月の1970年10月、日本国有鉄道が開始した大々的なキャンペーン、「ディスカバー・ジャパン」。大胆なヴィジュアルイメージをもったこのキャンペーンは、たちまちにして衆目を集めることになりました。駅舎、車両、新聞、雑誌などを飾った広告には、場所のはっきりしない写真と大きな英語のロゴ。特定の観光地へと誘う従来の宣伝と大きく異なり、「美しい日本と私」をテーマに人の心に呼びかけようとする手法、そして若い女性をターゲットにしたファッショナブルなデザインは、国鉄にとっても、またこの時代においても、大きな転換を示すものでした。

本展は、当時のポスター約100枚を中心に、多数の資料を通じてこのキャンペーンを振り返ります。また同時に、キャンペーンから派生した議論や同時代の芸術表現も参照しながら、一時代に留まらず今日にもつながる想像力の軌跡をたどります。情報を送る側と受け止める側とが生み出す複製文化の怒濤のうねりをご堪能ください。

40年前の「発見」を再発見する旅によこそ！

DISCOVER JAPAN
美しい日本と私 日本国鉄

1 「アンアン」no.47 | 1972年
2 「遠くへ行きたいー伊丹十三の天が近い村」(読売テレビ) | 1973年
3 中平卓馬「来たるべき言葉のために」より | 1970年
4 「でいすかばあ・じやぱん」no.2 | 1971年 | 鉄道博物館
5 ディスカバー・ジャパン スタンプ台 | 1970年頃 | JR 東日本盛岡支社
6 ディスカバー・ジャパン ポスター | 1971年頃 | 鉄道博物館
7 ミニ周遊券カバー | 1970年代
8 ディスカバー・ジャパン バンフレット | 1970年頃

美しい日本の旅
おでかけしてみてください
行ってみていても
お出でのお出でをお楽しみください。
お出でいただけます
お出でいただけます。

DISCOVER JAPAN

